

2026 ILCA 中国選手権大会

期日： 2026 年 10 月 3 日(土)～4 日(日)

会場：道の駅・秋鹿^{あいか}なぎさ公園（島根県松江市岡本町 1048-1）

共同主催： 一般社団法人 日本レーザークラス協会、レーザー島根フリート、松江ヨット協会
島根県ヨット連盟

協力： 道の駅・秋鹿なぎさ公園、宍道湖漁協、株式会社 日新第二工場

*ごうぎん文化振興財団助成事業

NOTICE OF RACE

1. 競技種目

ILCA7、ILCA6

2. 規則

2.1. 本レガッタには「2025～2028 国際セーリング競技規則」（以下、RRS）に定義された「規則」を適用する。

2.2. [DP]は、プロテスト委員会の裁量ペナルティーが決定する規則を意味する。

2.3. [NP]は、この規則の違反は艇による抗議の根拠とはならないことを意味する。これは RRS60.1 を変更している。

3. 帆走指示書

帆走指示書（SI）は、**10月1日**（木）までに、大会サイトより入手できる。

大会サイト：<http://sail.jpn.com>

4. コミュニケーション

4.1. レースオフィスは、道の駅・秋鹿なぎさ公園2階の研修室に設置する。

4.2. 公式掲示板は大会専用 LINE オープンチャットを使用し、参加者は各自登録を行うこと。（大会サイトに後日掲載、フリート/クラス/名前。例：島根7 大国明太郎）

4.3. レース中、緊急の場合を除き、艇は音声やデータを送信してはならず、かつ全ての艇が利用できない音声やデータ通信を受信してはならない。

5. 参加資格

5.1. 日本レーザークラス協会の 2026 年度メンバーであること。

5.2. スポット会員の参加は受け付けない。

5.3. 日本セーリング連盟の 2026 年度メンバーであること。

5.4. 受付時に上記 5.1, 5.3 の会員証を提示すること。

6. 参加申込み

6.1. 大会サイトよりオンラインエントリーで行うこと。レイトエントリーなし。

6.2. 申込期限は 2026 年 9 月 23 日までとする。

また参加の上限を50 艇とし、先着順とする。ただし状況に応じて調整する場合がある。（クラス別の艇数制限はしない）

6.3. エントリー数が 6.2 より早く上限に達した場合は以降キャンセル待ちとなり、順次繰上げとする。ただし 6.2 以降はこの限りではない。

6.4. 支援艇およびトレーラーを搬入する場合は、6.2 期日までにその旨を申し出ること。

7. 参加料

7.1. 参加料： ¥8,000

7.2. 支払いは、7.3の期日までに着金するよう下記口座へ振り込むこと。

みずほ銀行 松江支店 普通預金 口座番号：3024571 オオグニ メイタロウ

(振込手数料はご負担ください。また振込人名義は選手名とすること。)

7.3. 支払い期限は 2026 年 9 月 25 日（金）までとし、複数名分送金の場合は問い合わせ先記載のメールアドレス宛に連絡すること。またキャンセル待ちなどで参加可否が明確でない場合は、参加料を振り込まないこと。主催側は 7.3 の期日以降に該当者に連絡を行う。

7.4. 支払い期限までに指定口座へ着金を確認できない、あるいは参加を辞退した場合はキャンセル扱いとなる。

7.5. 支払い期限までの不参加申し出の場合、返金手数料¥1000 を差し引いた金額を返金する。

7.6. 2026 年 9 月 26 日以降の参加辞退申出については、参加料の返金を行わず、DNC として記録する。

8. 日程

8.1. 大会日程

	日付	時刻	内容
Day1	10 月 3 日（土）	09:00	来場、艇搬入可能
		09:15	受付開始（2F 研修室）
		10:00	開会式、全体ブリーフィング
		11:45	第 1 レース予告信号
			引き続きレースを行う。（3 レースを予定）
Day2	10 月 4 日（日）	08:30	来場可
		09:30	全体ブリーフィング
		10:55	その日の最初のレース予告信号
		12:25	引き続きレースを行う。（2 レースを予定）
		13:30	以降スタートは行わない
		16:30	閉会式

8.2. クラス別に合計 5 レースを予定する。

8.3. 10 月 4 日は 13:30 より後のスタートは行わない。

8.4. 天候その他の事情により、日程はレース委員会の裁量で変更することがある。

9. 艇の乗員と装備の交換

9.1. ILCA クラス規則 7(a) を次の通り変更する。

「レース中は登録された 1 名のみ乗艇できる。」

9.2. 艇は大会において、1 つのハル、セール、バテンセット、マスト、ブーム、センターボード、ラダーを使用しなくてはならない。

10. 安全

- 10.1. 水上にいる間は、RRS40.1 が適用される。
- 10.2. 艇は、直径6mm 以上、長さ 8m以上の浮力性のあるハウラインを搭載し、その一端はバウアイに結び付けられていなければならない。
- 10.3. マストトップに浮力体を取り付けても良い。形状は球形に限り、1 箇所のロープで取り付けなければならない。コンディションにより付けたり外したりしても良い。

11. 開催地

- 11.1. NOR 付属文書 1「レースエリア」に、おおよそのレースエリアを示す。
- 11.2. NOR 付属文書 2「会場内図、会場周辺図、」に、会場施設利用上の諸注意、各配置等を示す。

12. コース

風上一風下コースを予定している。

13. ペナルティー方式

RRS 付則 P および T が適用される。

14. 得点

- 14.1. シリーズの成立には 1 レースを完了することを必要とする。
- 14.2. 完了したレースが 3 レース以下の場合、艇のシリーズの得点は、レース得点の合計とする。
- 14.3. 完了したレースが 4 レース以上の場合、艇のシリーズ得点は、最も悪い得点を除外したレース得点の合計とする。

15. チャーター艇

チャーター艇の貸し出しは行わない。

16. 支援艇

- 16.1. 全ての支援艇は、大会受付時に登録を行わなければならない。また登録料として、¥2,500 を現地にて支払うこと。(現金のみ)
- 16.2. [DP] 全ての支援艇は、最初にスタートするクラスの準備信号から全ての艇がフィニッシュもしくはリタイアするまでの間、またはレース委員会が最初にスタートするクラスをゼネラルリコールするか、全てのクラスを延期もしくは中止とする信号を発するまでの間、レースエリアの外側にいなければならない。
- 16.3. [DP][NP] 全ての支援艇はレース委員会から救助および曳航の要請があった場合、これに応じること。
- 16.4. 大会側は各支援艇に対し、16.3 に用いる目的で無線機を貸与する。引き渡しはレースオフィスで行い、その日のレース終了後返却すること。
- 16.5. [DP][NP] 支援艇の乗員は、水上にいる間は、衣服または個人装備を一時的に整えたりする間を除き、常時、適切な個人用浮揚用具を着用していなければならない。
- 16.6. 全ての支援艇は船舶保険に加入のこと。また乗船者は有効な傷害保険と賠償保険に加入のこと。

17. リスク・ステートメント

RRS3 には『レースに参加するか、またはレースを続けるかについての艇の決定の責任は、その艇にのみある。』とある。大会に参加することによって、それぞれの競技者は、セーリングには内在するリスクがあり、潜在的な危険を伴う行動であることに合意し、認めるこ

とになる。これらのリスクには、強風、荒れた海、天候の突然変化、機器の故障、艇の操船の誤り、他艇の未熟な操船術、不安定な足場でバランスを失うこと、疲労による障害のリスク増大などがある。セーリングスポーツに固有なのは、溺死、心的外傷、低体温症、その他の原因による一生消えない重篤な障害、死亡のリスクである。

主催団体は、大会の前後、期間中に生じた物理的損害または身体障害もしくは死亡によるいかなる責任も負わない。

18. 保険

競技者は、有効な傷害保険と賠償保険に加入していなければならない。

19. 賞

各クラスの成績上位者には記念品が授与される。

20. 大会不成立

20.1. 強風、無風、降雪、地震等自然災害、事件、事故等により大会不成立の場合には、参加料の返金はしない。

20.2. 天災地変等の不可抗力の事由により、主催者が大会の中止を決定した場合は、準備経費を差し引いた参加料の一部が返金される。

21. 肖像権

競技者は、本大会に参加することにより、大会期間中の競技者または競技者の装備に関する動画、写真等について、その競技者に予告なく主催団体の判断で使用する権利を主催団体に与えるものとする。

22. 問合せ先

レーザー島根フリート 大国 明太郎

電子メール： oguni.207433@gmail.com

23. 【レース公示に含まれないその他の情報】

1. レガッタ期間中以外の競技艇および支援艇の搬入、艇置き、海上練習等はできません。
2. 艇の積み下ろし目的で芝生内や一般駐車場に駐車できますが、完了後は速やかに臨時駐車場へ移動願います。
3. 道の駅敷地内の車両通行は一方通行です。付属文書2を参照ください。
4. 道の駅艇庫前スロープについて、マリンスポーツ営業時間内(10時-12時、13時-16時)は一般利用者の使用が優先されますので、選手は原則砂浜から出着艇願います。
5. 車中泊はマナーの厳守と近隣にご配慮いただける方のみ臨時駐車場にて可能。トイレは道の駅をご利用ください。道の駅内駐車場での車中泊は施設規則によりできません。
6. 道の駅への車両出入りについて、国道を走行する一般車両に十分な注意をお願いします。
7. 道の駅既設の更衣室、コインシャワー（¥100/3分）を利用できます。（会場内図参照）

（支援艇について）

8. 道の駅艇庫前スロープは傾斜が緩く遠浅で、水際は砂の堆積があります。
9. 係留は道の駅東隣の日新第二工場敷地内へお願いします。（会場周辺図1参照）岸壁に防舷材はありませんので、各自用意ください。

#

付属文書 1

【レースエリア】



#

付属文書2

【会場内図】



【会場周辺図】

